

処理困難物処理促進に向けた検討の進捗について

前回検討委員会(平成 30 年 1 月 12 日)以降の各 PCB 処理事業所における処理困難物処理に向けた検討の進捗は以下のとおりです。

1. 超大型変圧器及び搬出不可変圧器

現地現物確認により対象物を特定し、平成 32 年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	—	4 台	—	26 台	1 台	31 台
処理済み	—	2 台	—	5 台	0 台	7 台
処理残	—	2 台	—	21 台	1 台	24 台

【今後の処理予定】

平成 30 年度:11 台(大阪 2 台、東京 8 台、北海道 1 台)

平成 31 年度:9 台(東京 9 台)

平成 32 年度:4 台(東京 4 台)

2. 大型保管容器及びタンク

現地現物確認により対象物を特定し、平成 32 年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	—	—	15 基	5 基	6 基	26 基
処理済み	—	—	7 基	1 基	1 基	9 基
処理残	—	—	8 基	4 基	5 基	17 基

【今後の処理予定】

平成 30 年度:2 基(東京 2 基)

平成 31 年度:2 基(東京 2 基)

平成 32 年度:13 基(豊田 8 基、北海道 5 基)

3. 密閉容器内保管漏洩変圧器

現地現物確認により対象物を特定し、平成 30 年度で処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	—	2 台	—	1 台	6 台	9 台
処理済み	—	0 台	—	1 台	2 台	3 台
処理残	—	2 台	—	0 台	4 台	6 台

【今後の処理予定】

平成 30 年度:6 台(大阪 2 台、北海道 4 台)

4. その他大型機器

現地現物確認により対象物を特定し、平成 31 年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	—	1 台	32 台	4 台	6 台	43 台
処理済み	—	0 台	4 台	0 台	5 台	9 台
処理残	—	1 台	28 台	4 台	1 台	34 台

【今後の処理予定】

平成 30 年度:31 台(豊田 26 台、東京 4 台、北海道 1 台)

平成 31 年度:3 台(大阪 1 台、豊田 2 台)

5. 処理困難 PCB 油

(1)低引火点成分混入 PCB 油

現在対象物量を確認中。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	3 件	6 件	4 件	—	—	13 件
処理済み	1 件	0 件	0 件	—	—	1 件
処理残	2 件	6 件	4 件	—	—	12 件

【今後の処理予定】

平成 30 年度:11 件(北九州 2 件、大阪 5 件、豊田 4 件)

平成 31 年度:1 件(大阪 1 件)

(2)その他夾雑物混入 PCB 油

現在対象物量を確認中。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	—	19 件	6 件	3 件	1 件	29 件
処理済み	—	11 件	0 件	1 件	0 件	12 件
処理残	—	8 件	6 件	2 件	1 件	17 件

【今後の処理予定】

平成 30 年度:15 件(大阪 8 件、豊田 6 件、東京 1 件)

平成 31 年度:2 件(東京 1 件、北海道 1 件)

6. コンクリート固化機器

現地現物確認により対象物を特定し、平成 31 年度までに処理完了予定。

	北九州	大阪	豊田	東京	北海道	合計
対象物	—	60 台	88 台	39 台	7 台	194 台
処理済み	—	60 台	22 台	11 台	5 台	98 台
処理残	—	0 台	66 台	28 台	2 台	96 台

【今後の処理予定】

平成 30 年度:60 台(豊田 30 台、東京 28 台、北海道 2 台)

平成 31 年度:36 台(豊田 36 台)